



通信

HP 学校だより
R5.1.10
NO.34
文責 伊藤美佳

飛躍の年を迎えて

新春のお慶びを申し上げます

今年の「干支（えと）」は、「癸（みずのと）卯（う）」です。

【ミニ知識】 ※（ ）の中は読み方を表す。2つある場合（音読み・訓読み）

「十二支（じゅうにし）」の「卯（う・うさぎ）」はよく知られていますが、「十干（じゅっかん）」はあまり知られていないかもしれません。「十干」はもともと甲（こう・きのえ）、乙（おつ・きのと）、丙（へい・ひのえ）、丁（てい・ひのと）、戊（ぼ・つちのえ）、己（き・つちのと）、庚（こう・かのえ）、辛（しん・かのと）、壬（じん・みずのえ）、癸（き・みずのと）と、日を順に10日ごとのまとまりで数えるための呼び名でした。10日ごとに「一句（いちじゅん）」と呼び、3つの旬（上旬、中旬、下旬）で1か月になるとして広く使われてきました。また、古代中国では、万物はすべて「陰」と「陽」の2つの要素に分けられるとする「陰陽説（いんようせつ）」と、すべて「木」「火」「土」「金」「水」の5つの要素からなるとする「五行説（ごぎょうせつ）」という思想がありました。これらを組み合わせたものを「陰陽五行説」といい、やがて陰陽五行説を「十干」に当てはめるようになりました。十二支はもともと12か月の順を表す呼び名に12種類の動物を当てはめるようになったとされています。「干支」は「十干」と「十二支」が組み合わさり60通り、つまり60年で一巡、生まれてから還暦まで毎年「干支」が異なることを意味します。

「癸（みずのと）」は静かで温かい大地を潤す恵みの水を表し、十干の最後にあたるため、生命の終わりとなつた新たな生命の成長という意味をもっています。また「卯（う）」は穏やかなウサギの様子から安全、温和の意味をもちます。他にもウサギのように跳ね上がるという意味があり、何かを開始するのに縁起がよく、物事が好転する良い年になると言われています。そのため、「癸・卯」は、今までの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年だとされています。

子どもたちには始業式にこのお話をしましたが、お家でも話題にさせていただき、会話を楽しんでいただければと思います。論語の中に「辞（じ）は達（たつ）するのみ」という教えがあります。

「言葉は、自分の気持ちや考えを正しく、わかりやすく人に伝えるためにある」という教えです。

子どもたちが、多くの言葉、すてきな言葉を身につけるためにも、学校、家庭、地域での会話を大切に、自分の気持ちや考えをしっかりと伝えられる豊坂っ子になってほしいと願います。

地域の方より

5年生が飯盒炊飯をした際に焼き物をくださった地域の方より、すてきな千両をいただきました。ありがとうございました。来賓玄関に飾らせていただきました。

5年生がお礼の手紙をもってきてくれ、その手紙を読んで思いが伝わったことがわかってうれしかったと伝えてくださいました。火が長持ちするようにご配慮いただき、ありがたかったです。2023年も引き続き豊坂っ子の活動にご支援、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

